

日本神経学会「研究シーズの企業導出サポート事業」概要

日本神経学会 将来構想委員会
産学連携プロジェクトチーム

【事業趣旨】

日本神経学会学術大会の一般演題から選抜される、研究シーズ候補としてふさわしい優秀な演題について、その研究シーズのトランスレーション（社会実装）としてのシーズの企業導出をサポートする目的にて、日本神経学会が一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン（LINK-J）の特別会員としてマッチングイベントを開催し、同イベントにおいて製薬企業等とのマッチングを目指した発表及び懇談の機会を設ける。さらに、研究シーズの企業導出に向けた助成金の支給を行う。

【事業経費】

1. マッチングイベントの開催経費
LINK-Jの特別会員Bとしての年会費 120,000 円（日本神経学会が支出）
2. 研究シーズ企業導出助成金
採択者1名あたり 1,000,000 円程度を支給
使途：研究費（特許の出願や維持に直接必要な経費に充てることはできない）

【事業スケジュール】

1. 応募
 - 資格：日本神経学会会員
 - 期間：日本神経学会学術大会の一般演題の登録期間
 - 方法：日本神経学会学術大会の一般演題の登録に際し、登録システム上で本事業への応募フローに進み、必要事項（特許出願の有無や見込み、特許内容の概要、出願人、出願年月日、企業との共同研究の見込み等）を記入する。
2. 選考
日本神経学会将来構想委員会の産学連携プロジェクトチームのメンバーにて、利益相反のある応募案件（所属機関が同一の案件を含む）を除いて投票を行い、投票数の多い応募案件を採択する（若干名）。
3. 交付申請
採択者は、研究シーズ名、研究目的、研究実施計画、企業導出に向けた計画、LINK-J マッチングイベントの利活用計画、本助成金の使途等を記載した交付申請書を作成し、日本神経学会に提出する。
4. 研究実施
採択者は、交付された研究シーズ企業導出助成金を使用して、企業導出に向けた研究を実施する。
5. マッチングイベント
LINK-J マッチングイベントを開催し、採択者は研究シーズの発表及び懇談を通じて、製薬企業等とのマッチングを推進する。
6. 報告
採択者は、本事業の終了後、研究シーズ名、研究成果、特許出願や企業導出の進捗状況、LINK-J マッチングイベントの成果、本助成金の収支決算の各項目を記載した事業報告書を作成し、定める期日までに日本神経学会に提出する。

【期待される事業効果】

日本神経学会会員の研究シーズに対して、日本神経学会認定シーズのお墨付き効果を付与し、研究費をサポートすることにより、採択者にとっては研究シーズの企業導出活動の推進しインセンティブが向上し、企業側にとっては学会の多数の発表の中から有望なシーズの情報をマッチングイベントで効率的に収集して、共同研究やシーズ知財導出につながる機会になり得る。日本神経学会が研究シーズのトランスレーション（社会実装）を担う有力な団体として発展し、学術のみならず日本の産業振興にも貢献することが期待される。